

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【公開番号】特開2007-233449(P2007-233449A)

【公開日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2007-035

【出願番号】特願2006-50744(P2006-50744)

【国際特許分類】

G 06 F 3/06 (2006.01)

G 06 F 3/08 (2006.01)

G 06 F 3/12 (2006.01)

H 04 N 1/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/06 3 0 4 H

G 06 F 3/08 C

G 06 F 3/12 A

H 04 N 1/00 1 0 7 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月26日(2009.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報を読み出す読み出し手段と、

画像データを外部へ送信する送信手段と、

前記送信手段が画像データを送信する場合に、前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報が必要であるか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段が前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報が必要であると判定した場合、前記読み出し手段が、前記送信手段が前記画像データの送信をするのに必要な情報を前記着脱可能な記憶媒体から読み出すまで、前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報の読み出しが可能な状態を維持するよう制御する制御手段と、
を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

更に、前記読み出し手段が前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報を読み出すことを許可する状態から許可しない状態へと遷移させる要因の発生を検知する検知手段を備え、

前記制御手段は、

前記検知手段が前記読み出し手段が前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報を読み出すことを許可する状態から許可しない状態へと遷移させる要因の発生を検知した場合において、前記判定手段が、前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報が必要であると判定した場合には、前記読み出し手段が、前記送信手段が前記画像データの送信をするのに必要な情報を前記着脱可能な記憶媒体から読み出すまで、前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報の読み出しが可能な状態を維持するよう制御し、

前記検知手段が前記読み出し手段が前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報を読み出すことを許可する状態から許可しない状態へと遷移させる要因の発生を検知した場合

において、前記判定手段が、前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報が必要でないと判定した場合には、前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報の読み出しが可能でない状態へ遷移させるよう制御することを特徴とする、請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】

更に、前記着脱可能な記憶媒体に記憶されたユーザ情報を用いて前記画像処理装置を使用するユーザを認証するユーザ認証手段を備え、

前記ユーザ認証手段がユーザを認証している状態において、前記読み出し手段は前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報を読み出し可能であり、

前記検知手段は、前記ユーザ認証手段がユーザの認証状態を解除したことに基づいて前記読み出し手段が前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報を読み出すことを許可する状態から許可しない状態へと遷移させる要因の発生を検知することを特徴とする、請求項2に記載の画像処理装置

【請求項4】

更に、前記画像処理装置に対するユーザによる操作を受け付ける操作手段を備え、

前記ユーザ認証手段は、ユーザを認証している状態において、予め定められた時間の間前記操作手段がユーザによる操作を受け付けなかった場合に、前記ユーザの認証を解除することを特徴とする、請求項3に記載の画像処理装置。

【請求項5】

更に、前記画像処理装置を節電状態へ移行する指示を受け付ける節電指示受付手段を備え、

前記ユーザ認証手段は、ユーザを認証している状態において、前記節電指示受付手段が前記画像処理装置を節電状態へ移行する指示を受け付けたことに従って前記ユーザの認証を解除することを特徴とする、請求項3に記載の画像処理装置。

【請求項6】

着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報を読み出す読み出し手段を備える画像処理装置における画像データ送信方法であって、

画像データを外部へ送信する送信ジョブの実行指示を受け付ける受付工程と、

前記受付工程にて実行指示を受け付けた送信ジョブを実行する場合に、前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報が必要であるか否かを判定する判定工程と、

前記受付工程で実行指示を受け付けた送信ジョブを実行する送信工程と、

前記判定工程において、前記送信ジョブを実行するために前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報が必要であると判定した場合、前記送信ジョブの実行のために必要とされている情報を前記着脱可能な記憶媒体から読み出すまで前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報の読み出しが可能な状態を維持するよう制御する制御工程と、を備えることを特徴とする画像データ送信方法。

【請求項7】

コンピュータを、

着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報を読み出す読み出し手段と、

画像データを外部へ送信する送信手段と、

前記送信手段が画像データを送信する場合に、前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報が必要であるか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段が前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報が必要であると判定した場合、前記読み出し手段が、前記送信手段が前記画像データの送信をするのに必要な情報を前記着脱可能な記憶媒体から読み出すまで、前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報の読み出しが可能な状態を維持するよう制御する制御手段と、

して機能させることを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0007】**

そこで、前記問題を解決するため、本発明の画像処理装置は、着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報を読み出す読み出し手段と、画像データを外部へ送信する送信手段と、前記送信手段が画像データを送信する場合に、前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報が必要であるか否かを判定する判定手段と、前記判定手段が前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報が必要であると判定した場合、前記読み出し手段が、前記送信手段が前記画像データの送信をするのに必要な情報を前記着脱可能な記憶媒体から読み出すまで、前記着脱可能な記憶媒体に記憶されている情報の読み出しが可能な状態を維持するよう制御する制御手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0010】**

また、前記問題を解決するため、本発明は、画像データ送信方法及びプログラムとしてもよい。